

訪米ミッション

米国の政治経済情勢を探る

グローバル化推進委員会は2月14日～22日にかけて、7年ぶりとなる訪米ミッションをワシントンD.C.、ニューヨークに派遣した。コロナ禍で途絶えていた米国の各界カウンターパートとの対話・交流再開、大統領・議会選挙に向かう米国の政治状況、今後の政策動向の見通しに関する情報収集を目的として、各界の有識者にヒアリングを行った。



全米商工会議所との面談

背景と問題意識

日米両国は基本的な価値観と幅広い領域で利害を共有し、重層的な協力関係を築いている。不確実性の高い国際情勢の中で、「かつてなく強固である日米同盟」はアジア太平洋地域の安定と日本の国益にとって極めて重要である。日米が連携してグローバルな諸課題に備えるとともに、米国が大統領選挙に向かう中で、経済界として主な争点を正しく理解し、予見可能性を高めておく必要がある。

こうした視点から訪問先を選定、米国の政治経済情勢にかかわる情報収集と意見交換を行い、同時に米国各界の有識者との交流チャンネルをつなぎ直すことを目的とした。

主な訪問・会談先

※面談順

ワシントン D.C.	ブルッキングス研究所 ユーラシア・グループ 米国議員経験者協会 (FMC) 外交問題評議会 (CFR) 全米商工会議所 カーネギー国際平和基金 ピーターソン 国際経済研究所 ヘリテージ財団 経済開発委員会 (CED)
ニューヨーク	マシュー・ポットインジャー (元国家安全保障会議 (NSC) アジア局長) ジャパン・ソサエティ 国連開発計画 (UNDP) 米国国際ビジネス評議会

参加者

■団長

茂木 修

キッコーマン 取締役専務執行役員
経済同友会 グローバル化推進委員会 委員長

三毛 兼承 ワシントンD.C.のみ

三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役 執行役会長
経済同友会 副代表幹事 (グローバル化推進担当)

■団員

田川 丈二 ワシントンD.C.のみ

日産自動車
専務執行役員 チーフサステナビリティオフィサー

中塚 晃章

アルテミラ・ホールディングス
取締役社長兼グループCEO

平賀 暁

マーシュ ブローカー ジャパン 取締役会長

宮原 京子 ワシントンD.C.のみ

ファイザー 取締役執行役員

江口 豪

サントリーホールディングス
インテリジェンス推進本部長
経済同友会 日米関係タスクフォース 主査



ユーラシア・グループとの面談を終えて、記念撮影



国連開発計画 (UNDP) との意見交換